

---

# 神風

紅月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神風

### 【Nコード】

N2016K

### 【作者名】

紅月

### 【あらすじ】

祖父母に聞いた話、テレビや新聞で見た話。その時代に生きた人たちにしか、残酷さが分からない、それでも私たちがこれからも覚えて、伝えていなくてはならない戦争、について。神風特攻隊をモチーフにした詩です。

ああ どうしてこんな美しい空を見せるのか  
私は今 死に行くというのに  
ああ どうしてこんな楽しい思い出ばかり浮かぶのか  
御国のための身であるというのに

死にたくない 死にたくない

それでも これは御国のため（愛する家族のため）  
片道切符しかない この狭い箱は  
私の死に場所へと 抜けるような蒼天を飛ぶ

行かなければならない  
逝かなければならない

ふるさと

口ずさみながら 懐郷の涙を流し  
さっきのことのように思える  
妻が長男を産んだときのことだとか  
赤い紙が 私を呼んだときの妻の涙だとか  
家族が私を送り出したときの震えた声だとか  
すべて すべて その歌に詰め込んで（帰れたらどんなにいいだろ  
う）

ああ いとしい記憶よ

どうかこの死が意味のあるものになりますように

御国に  
栄光あれ

(後書き)

戦争についてはよく考えさせられます。色々な方がそうでしょう、例えば核が落とされたのは日本だけで、その悲惨さを知るのも日本だけということか。これからも考えていかなくてもなりません。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2016k/>

---

神風

2011年1月26日14時15分発行